

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	保健福祉部
	課名	子ども福祉課
	係名	子育て支援係
	記入者	電話(内線) 122

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続	(2) 事務事業 の名称	放課後児童健全育成事業	(3) 事業の 優先度	A
(4) 総合計画での位置づけ	主要事業		(6) 事業主体	市	
② 施策コード	13301	(総合計画掲載ページ) 54 (ページ)	(7) 予算・ 財源等 の種別	事業の性質	一般事業費(ソフト事業)
基本目標(政策)	1	ともに支えあい、安心して暮らせる社会福祉の充実(保健・福祉)		会計区分	一般会計
基本施策	3	安心して子育てできる児童福祉の充実(児童福祉)		財源区分	県補助
施策		子育て家庭への支援		予算科目	款 3 項 2 目 5
施策内容		共働き世帯・働くひとり親世帯への支援		予算書上の 事業名称	放課後児童健全育成事業 (予算書 114 ページに掲載)
(5) 事業期間	開始	6 年 4 月から	(8) 事務分類	自治事務	
	終了	年 月まで (力年)	根拠法令		

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象(だれに対して・何に対して行うのか)	(3) めざす姿(意図・どのような状態になるのか)
小学校の通学する留守家庭児童	放課後や長期休暇中の安全で安心な居場所を提供し、子どもたちがのびのびと健やかに育つ環境を作る。
(2) 手段(事業内容・どのようなことを行うのか)	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)
保護者が運営する学童クラブへ運営を委託する。放課後児童健全育成事業実施要項に沿って学童クラブ会長から管理運営委託申込を受け、管理運営委託契約をし、学童クラブへ運営費として委託料を支払う。また、年度末には実績報告の提出がある。	留守家庭児童を持つ保護者からの依頼により開始。
(5) 事業をとりまく環境の変化(社会環境、市民ニーズ等)や市民・議会の要望、意見等とそれに対する対応	
財政上、平成26年度のエアコン設置は困難であり、夏休み一日中学童クラブで過ごす児童及び指導員の健康を守るため、エアコン整備に要する期間中の暫定措置として、各学校長のご理解をいただき、夏季休業期間中に限り、図書室を利用できることとした。利用については、学校長・教職員の指示に従うこととし、学習・読書活動時に利用していただく。今後、2か所ずつ5年計画で、計10か所の学童クラブに設置していく。	

3. 事業コスト

行政評価		実績内容の評価		検討・改善		検討・改善内容を反映					
実施計画											
● 予算内訳		実績額（千円）		当初予算額（千円）		計画額・見込額（千円）					
事業内容		26 年度		27 年度		28 年度		29 年度		30 年度	
（１）事務事業費の コスト	事業費	報償費		0		40					
		需用費		332		486					
		役務費		23		78					
		委託料		46,631		54,531					
		使用料および賃借料		11		21					
		工事請負費		0		0					
		備品購入費				409					
		負担金補助及び交付金				42					
		合計		46,997		55,607					
		財源	国庫支出金（千円）				17,028				
県支出金（千円）			29,839		17,028						
地方債（千円）											
その他特定財源（千円）											
一般財源（千円）			17,158		21,551						
合計（千円）			46,997		55,607						
補助・起債制度名			放課後児童健全育成事業費補助金		放課後児童健全育成事業費補助金						

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）				指標の名称	単位	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）										
指標名	登録児童数	目標値	人		410	410	410	410		
		実績(見込)値		370						
	開催日数	目標値	日		267	267	267	267		
		実績(見込)値		264						
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）										
指標名	待機児童数	目標値	千円		0	0	0	0		
		実績(見込)値		0	0					
		達成率		#DIV/0! %	#DIV/0! %					
	実施クラブ数	目標値	クラブ		12	12	12	12		
		実績(見込)値		12	12					
		達成率		100.0 %	100.0 %					
5. 事業評価										
(1) 平成26年度の行政評価結果をうけて、平成26年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。										
<p>財政上、平成26年度のエアコン設置は困難であり、夏休み一日中学童クラブで過ごす児童及び指導員の健康を守るため、エアコン整備に要する期間中の暫定措置として、各学校長のご理解をいただき、夏季休業期間中に限り、図書室を利用できることとした。利用については学校長・教職員の指示に従うこととし、学習・読書活動時に利用していただく。</p>										
(2) 項目別評価										
評価項目・客観的評価				理由						
必要性	事業の必要性	A	必要性は高い	留守家庭児童の安全な居場所確保のために、学童クラブの必要性は高い。						
妥当性	実施主体の妥当性	A	妥当である	行政が行うことにより、保護者も安心して働きながら子育てができる。						
	手段の妥当性	A	妥当である	各学童クラブの事業内容に多少の差はあるが、児童の安全が確保されている。						
効率性	コスト効率 人員効率	B	どちらとも言えない	今後、発達につまづきのある児童が増えた場合、委託料は増加するものとする。						
公平性	受益者の偏り	A	偏りは見られない	目的とした対象者に対しては、概ね広く便益を提供している。						
有効性	成果の向上	A	上がっている	安心して子どもを預けられる場所として、学童クラブが浸透している。						
進捗度	事業の進捗	A	順調である	今後、学童クラブを利用する保護者は増えていくことが予想される。						
(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。										
<p>共働き世帯の増加により、放課後、学童クラブを利用する保護者は増える傾向にある中で、児童及び指導員の健康管理の面から、夏休み中、早朝から夕方まで学童クラブ室で過ごすにはエアコン設置のための予算確保が課題である。夏休み中、学童クラブを利用しない児童が、家庭等でエアコンの中で過ごしていることを考えると、熱中症の犠牲者が出る前に対策を急ぎたい。</p>										
(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？										
<p>エアコン設置について、2か所ずつ5年計画で、計10か所の学童クラブに設置していく。学童クラブは小学校の空き教室を利用していることから、児童の安全のため、学校側との連携、指導員の資質向上等、充実させていく必要がある。また、安定した運営のため、統一した基準の検討も必要である。今後は、学童クラブ利用児童数増加により、指導員の確保、保護者負担の増加などの課題が出てくることが予想されるため、学童クラブ関係の要望への対応も含め、児童健全育成のために必要なことは何か、検討していく。</p>										
6. 事業の方向性判断										
評価主体		27年度以降の事業の方向性			評価理由・根拠					
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う		改善・改革しながら継続（成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減）			注）記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。					
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う		改善・改革しながら継続（成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減）			夏休み期間中の利用者が増えるため、エアコン整備は必要。					
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う					上記評価のとおり。					